

勝瑞発掘だより

2007. 3

第12次館跡発掘調査のまとめ



大量のかわらが捨てられていた遺構



ガラスのビーズが出土した小穴



瓦の出土した土坑



人工の溝



今回の調査では375基の遺構がみつかりました。
遺構の種類は濠、溝、土坑、柱穴などです。

館跡12次調査勝瑞コレクション



き

(拓本)

当国セ



表面に文字が彫られた丸瓦

同じ遺構から同一個体の瓦片が出土しており、
今後の整理作業により解読が進むかもしれません

左記の瓦と同じ遺構から出土した大きな丸瓦

約38cm × 20cm × 10cm



五輪塔

上から三番目(火輪部)・四番目(水輪部)の部分のみ出土

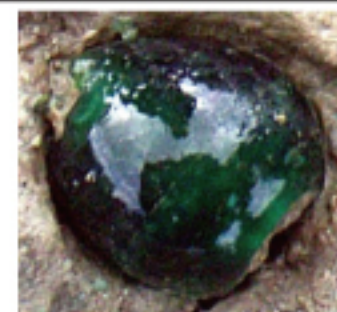


鈴形銅製品(金メッキ)

どういう風に使われていたものかはわかりません
某・猫型ロボットの鈴?



(実測図)



ガラスのビーズ

大きさは約3mmで1mmの孔が開いています。5ヶ出土



銅製飾り金具

蝶をかたどった金具



金製品

どういう風に使われていたものかはわかりません

文字の彫られた瓦が出土した遺構からは、他にも北宋銭(明道元宝)や風炉(19号参照)が出土しました

問い合わせ先
藍住町教育委員会 社会教育課
勝瑞発掘現場事務所
TEL・FAX (088) 641-3466
URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>
E-mail: syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp

